

CentreCOM®  
**LA100-CardBus-T V2**

---

ユーザーマニュアル

CentreCOM®  
**LA100-CardBus-T**  
**V2**

# ユーザーマニュアル

©1998 アライドテレシス株式会社



## 使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。



### 分解禁止

本製品のカバーを外したり分解したりしないでください。感電や故障の原因となります。また、メディアケーブルも分解しないでください。



### 長期保管時は袋に入れて

本製品を長期にわたって保管する場合は、コンピュータのPCカードスロットに入れたままにしないで必ず袋に入れてください。



### 稲妻危険

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。



### 日常のお手入れ

本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。製品の変形、変色の原因になります。



### 静電気注意

本製品・ケーブルは、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分などに素手で触れないでください。



### お子様の手の届かないところに保管してください



### 高温注意

本製品は内部に多くの部品を集積しており、使用中に高熱を発生するようになります。ご使用直後はかなり高温になっておりますので、ご注意ください。火傷の恐れがあります。



### 取り付け及び取り外し時の注意

コンピュータのPCカードスロットに本製品を取り付ける作業は、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。



### 運搬時の注意

本製品をコンピュータのPCカードスロットに装着したままにコンピュータを運搬するときには必ず付属のケーブルを外してください。



### 取り扱いは丁寧に

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



### 濡れたカードは使用しない

カードが万が一濡れた場合はショートによる感電・火災を防ぐため、絶対に使用しないでください。



### 次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所  
(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュタンを敷いた場所  
(静電気障害の原因にもなります)
- ・腐食性ガスの発生する場所
- ・スピーカ付近などの強磁界



### 動作温度と湿度

本製品は温度0 ~ 55 °C、湿度最大95%(ただし、結露なきこと)の範囲内でご使用ください。



### 異物を入れないでください

本製品の隙間から金属、液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# 0 はじめに

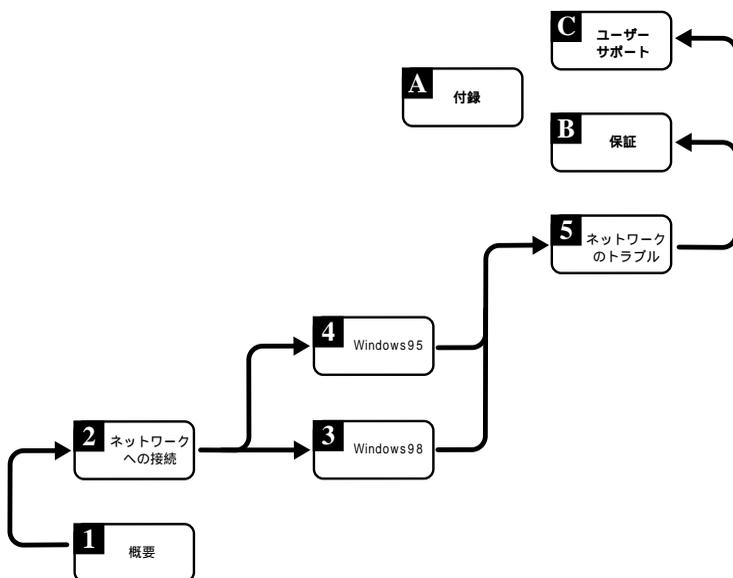
この度は、「CentreCOM LA100-CardBus-T V2」LANアダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルは、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

## 0.1 内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認ください。万一不足するものがございましたら、お手数ですがお買い求めの販売代理店までご連絡ください。

- CentreCOM LA100-CardBus-T V2 本体（永久保証対象）
- メディアケーブル
- ドライバーディスク（2枚）
- ユーザーマニュアル
- 永久保証書
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号ラベル

## 0.2 このマニュアルの構成



このマニュアルは、次図のような構成になっています。ご使用のオペレーティングシステム（OS）に応じて、図のように読み進んでください。OS（ドライバー）に依存したトラブルシューティング（エラーメッセージ）は、各章ごとに説明されています。OSに依存しないネットワークに関するトラブルや本製品のハードウェア診断のしかたは、第5章でまとめて説明されています。

## 0.3 ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライバーのインストール対象となるコンピュータ機種として「AT 互換機または PC98-NX」、ドライブ名として下記を仮定して説明しています。ご使用のコンピュータでドライブ名が異なる場合は、ご使用のコンピュータにおけるものと読み替えてください。

- 「フロッピーディスクドライブ」として「A:」
- 「起動ドライブ（ハードディスク）」として「C:」
- 「CD-ROM ドライブ」として「D:」

「PC-9821」における一般的なドライブ名を下記に挙げます（必ずしも下記の通りではありません。コンピュータのマニュアル、実際にご使用のコンピュータでご確認ください）。

- 「フロッピーディスクドライブ」として「B:」
- 「起動ドライブ（ハードディスク）」として「A:」
- 「CD-ROM ドライブ」として「Q:」

# 目次

0 はじめに.....	4	5 ネットワークのトラブル.....	24
0.1 内容物をご確認ください.....	4	5.1 LNK LED は点灯していますか？.....	24
0.2 このマニュアルの構成.....	4	5.2 LNK LED は点灯しているが.....	24
0.3 ドライブ名「A:」「C:」「D:」.....	4	5.3 本製品の詳細設定.....	25
1 概要.....	6	6 PC-9821Nrにおける注意.....	26
1.1 特長.....	6	A 付録.....	27
1.2 対応コンピュータ機種.....	6	A.1 製品仕様.....	27
1.3 対応オペレーティングシステム.....	6	A.2 ネットワークインターフェース.....	27
1.4 各部の名称と働き.....	6	A.3 MAC アドレス.....	27
1.5 ドライブディスク.....	7	B 保証.....	28
2 ネットワークへの接続.....	7	C ユーザーサポート.....	28
2.1 メディアケーブルの取り付け・取り外し.....	7	C.1 調査依頼書のご記入にあたって.....	28
2.2 UTP ケーブルの接続.....	8	C.2 システムレポートの出力方法.....	28
3 Windows98.....	8	C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法.....	29
3.1 ドライバーのインストール.....	8	C.4 調査依頼書.....	30
3.1.1 用意するもの.....	8	D ご注意.....	32
3.1.2 新規インストール.....	8	E 商標について.....	32
3.1.3 インストールの確認とアダプターの設定.....	10	F マニュアルバージョン.....	32
3.1.4 ドライバーの更新.....	11		
3.1.5 ドライバーの削除.....	13		
3.1.6 ドライバーの再インストール.....	14		
3.2 PC カードの取り付け・取り外し.....	15		
3.2.1 PC カードの取り付け.....	15		
3.2.2 PC カードの取り外し.....	15		
3.2.3 使用するスロットの変更.....	15		
3.3 ドライバーのトラブル.....	16		
3.3.1 本製品を認識しない.....	16		
3.3.2 デバイスマネージャで「x」が付く.....	16		
3.3.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない....	16		
3.3.4 リソース値重複の回避.....	17		
4 Windows95.....	17		
4.1 ドライバーのインストール.....	17		
4.1.1 用意するもの.....	17		
4.1.2 新規インストール.....	17		
4.1.3 インストールの確認とアダプターの設定.....	19		
4.1.4 ドライバーの削除.....	20		
4.1.5 再インストール.....	22		
4.2 PC カードの取り付け・取り外し.....	22		
4.2.1 PC カードの取り付け.....	22		
4.2.2 PC カードの取り外し.....	22		
4.2.3 使用するスロットの変更.....	22		
4.3 ドライバーのトラブル.....	23		
4.3.1 本製品を認識しない.....	23		
4.3.2 デバイスマネージャで「x」が付く.....	23		
4.3.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない....	23		
4.3.4 リソース値重複の回避.....	24		

# 1 概要

## 1.1 特長

CentreCOM LA100-CardBus-T V2 (以下、本製品と表記)は以下の特長をもつLAN アダプターです。

- CardBus (32bit インターフェース)による高速データ転送
- オートネゴシエーションにより100Mbps、10Mbps、半二重、全二重を自動的に設定
- ひとつのRJ-45 モジュラージャックにより100BASE-TX/10BASE-Tの両方に対応
- 通信状態を表示する2つのLED
- Plug&Play に対応(注)
- 活線挿抜 (Hot Plug/Hot Swap) に対応(注)
- ACPI に対応(注)



Plug&Play、活線挿抜、ACPI は、これらの機能に対応しているコンピュータ、オペレーティングシステム (OS) とドライバーのもとでご使用になれます。

## 1.2 対応コンピュータ機種

本製品は、PC Card Standard CardBus 対応 PC カードスロットを持つ次のコンピュータ機種に対応しています。

- AT 互換機およびNEC PC98-NX
- NEC PC-9821 シリーズ

## 1.3 対応オペレーティングシステム

本製品は、次のオペレーティングシステム (OS) に対応しています。

- Windows98
- Windows95 (Version B 以降のもの)



Windows95 のバージョンは、「コントロールパネル」 「システム」 「情報」で確認することができます。Version B と呼ばれるものでは「4.00.950 B」と表示されています。Version B は、「OSR 2」 (OEM Service Release 2) や「Type B」と呼ばれることもあります。「4.00.950」や「4.00.950a」と表示されている場合、本製品はご使用になれません。

## 1.4 各部の名称と働き

図 1.4.0.1 ~ 図 1.4.0.2 をもとに各部の名称と働きを説明します。

### 誤挿入防止キー

CardBus に対応していないコンピュータ機種の PC カードスロットに挿入してしまうことを防ぐキーです。

### グラウンドプレート

コンピュータとの接触抵抗を下げ、高速なデータ転送を実現する接点です。グラウンドプレート部分は、手や金属でふれたり、汚したりしないようご注意ください。

### PC カード本体

コンピュータの CardBus 対応 PC カードスロットに挿入し、LAN アダプターの機能を提供します。

### ACT LED

半二重 (Half Duplex) でリンクしているとき緑色、全二重 (Full Duplex) でリンクしているとき橙色に点灯し、パケットの送受信が発生したとき点滅します。リンクしていないときは消灯しています。

### LNK LED

対向装置と 10Mbps でリンクしているとき緑色、100Mbps のとき橙色に点灯します。リンクしていないときは消灯しています。

### 脱着ツメ

メディアケーブルの脱着を行うためのツメです。メディアケーブルの脱着は必ずこのツメを持って行ってください。

### メディアケーブル

PC カード本体と UTP ケーブルを接続するためのケーブルです。

### RJ-45 モジュラージャック

UTP ケーブル (シールドなしツイストペアケーブル) を接続するコネクタです。

### MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記入されています。MAC アドレスについては、「A.4 MAC アドレス」をご覧ください。

### 警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。必ずお読みください。

### シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号 (製造番号) とリビジョンが記入されています。同じものが、3枚ほど同梱されており、パッケージ (外箱) にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ラベルは、「お客様インフォメーション登録カード」と「永久保証書」に貼付してください (残る1枚は予備です)。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

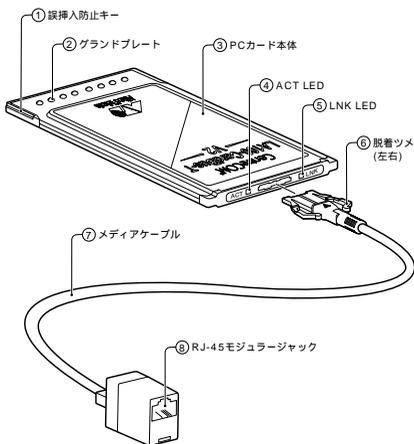


図 1.4.0.1 LA100-CardBus-T V2 外観図 (上面)

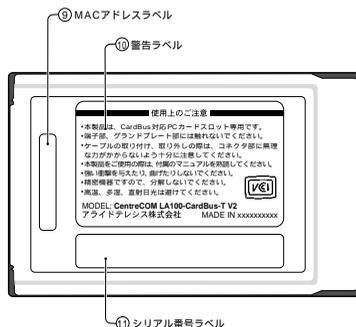


図 1.4.0.2 LA100-CardBus-T V2 外観図 (裏面)

## 1.5 ドライバディスク

本製品には、下記の 2 種類のドライバーディスクが付属しています。ご使用のコンピュータ機種に合わせてご使用ください。

- AT 互換機 / NEC PC98-NX 用
- NEC PC-9821 用

必ず、ドライバーディスクに含まれる「README.\*」ファイルをお読みください。「README.\*」には、このマニュアルに記載されていない最新の情報が記載されています。



※README.1ST (Read me first.) ファイルには、ドライバーディスクの詳細なディレクトリ構造やドライバーディスク全体に関わることが記載されています。各ディレクトリの中には、それぞれのドライバーに関連する README ファイルが存在します。

## 2 ネットワークへの接続

ネットワークに接続するときのケーブルの取り扱いについて説明します。本製品 (PC カード) のコンピュータへの取り付けは、後述のインストール手順をお読みになってから行ってください (本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入すると、ただちにインストールが開始されてしまいます)。



稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

### 2.1 メディアケーブルの取り付け・取り外し

メディアケーブルの LA100-CardBus-T V2 本体への取り付けは、下図のように、コネクターのマークを上にし、メディアケーブルのコネクターを本体のコネクターに奥まで差し込んでください。差し込んだら、メディアケーブルを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してください。

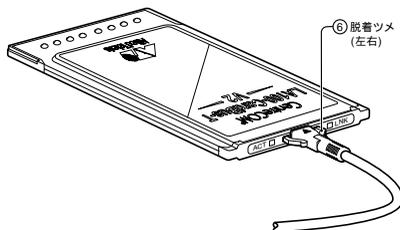


図 2.1.0.1

メディアケーブルの LA100-CardBus-T V2 本体からの取り外しを行う場合、本体 (PC カード) をコンピュータから取り外し、メディアケーブルのコネクター部分をしっかり持って、本体から引き抜いてください。



LA100-CardBus-T V2 本体をコンピュータに取り付けた状態で、メディアケーブルの取り外しを行わないでください。メディアケーブルと PC カード本体は、強い力で嵌合しているため、メディアケーブルを引っ張ると、PC カードがコンピュータの PC カードスロットから抜けてしまいます。

## 2.2 UTP ケーブルの接続

- (1) UTP ケーブルの端に付いたプラグの一方を、本製品の UTP コネクタにカチッと音がするまで差し込んでください。



注意

UTP ケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)は、10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合は 5 のものでストレートタイプをご使用ください。

- (2) UTP ケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
- (3) UTP ケーブルのもう一方の端のプラグをハブ(またはスイッチ)の UTP コネクタに差し込んでください。手順は、上記(1)(2)と同様です。



UTP ケーブルの RJ-45 プラグは、プラグの爪を指で押えながら手前に引くと、抜くことができます。

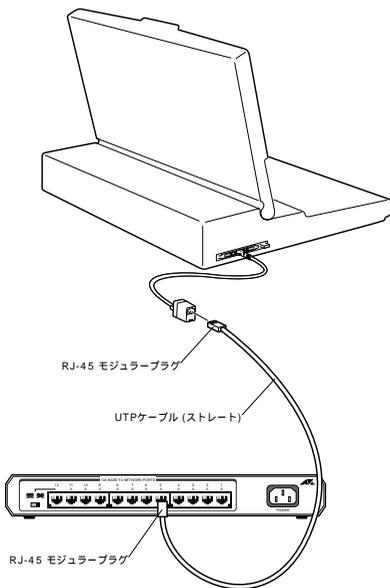


図 2.2.0.1

## 3 Windows 98



注意

以下に挙げる内容は一例です。お客様の環境によっては、手順などが若干異なることがあります。(本書に掲載した画面は AT 互換機のもので、PC-9821 シリーズの場合はディスプレイ名が異なります。)

### 3.1 ドライバーのインストール

#### 3.1.1 用意するもの

- LA100-CardBus-T V2 LAN アダプター
- コンピュータ (CardBus 対応 PC カードスロット付き、Windows98 インストール済み)
- LA100-CardBus-T V2 ドライバーディスク(本製品に付属)
- Windows98 の CD-ROM



警告

Windows98 が、コンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合は、Windows98 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスクに Windows98 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

#### 3.1.2 新規インストール

本製品のドライバーを Windows98 に新規インストールする手順を説明します(ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。

- (1) 本製品をコンピュータの PC カードスロットに取り付けていない状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows98 を起動してください。
- (2) Windows98 の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れてください。
- (3) コンピュータの PC カードスロットに本製品を挿入してください。



警告

CardBus 非対応の PC カードスロットには、絶対に本製品を挿入しないでください。CardBus 対応 PC カードでは、CardBus 非対応機種種の PC カードスロットに誤ってカードを挿入することを防ぐため、カードの形状を工夫してあります。そのため、無理に挿入しようするとカードまたは PC カードスロットを破損させる恐れがありますので、ご注意ください。

- (4) Windows98 は本製品がPC カードスロットに挿入されたことを自動的に検出し、次のダイアログを表示します。「次へ>」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.2.1

- (5) 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

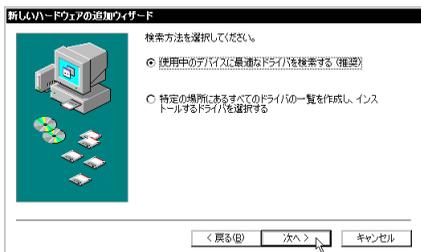


図 3.1.2.2

- (6) 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、次のダイアログで「フロッピーディスクドライブ」を選択して、「次へ>」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.2.3 フロッピーディスクドライブをチェック「✓」

- (7) 「更新されたドライバ(推奨)」(CentreCOM LA100-Card Bus V2 LAN Card)を選択し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

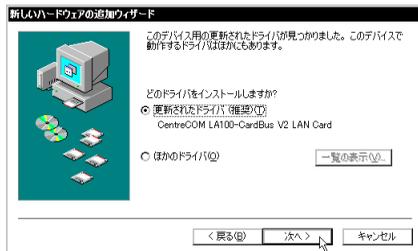


図 3.1.2.4

- (8) ダイアログの内容を読み、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

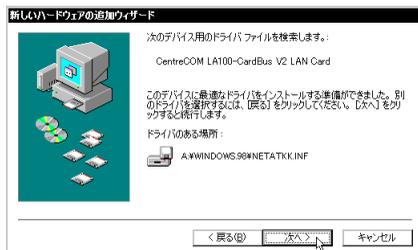


図 3.1.2.5

- (9) 次のようなダイアログが表示される場合、本製品のドライバーディスクがフロッピーディスクドライブに挿入されていることを確認し、「ファイルのコピー元」に「A:¥windows.98」を入力してください(AT 互換機)。



図 3.1.2.6 ドライバーディスクの要求



図 3.1.2.7 ドライバーのパス(所在)の指定

また、次のようなダイアログが表示される場合、Windows98 の CD-ROM が CD-ROM ドライブに挿入されていることを確認し、「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN98」を入力してください。ここでは CD-ROM ドライブを「D:」、AT 互換機を仮定します。PC-9821 の場合は、「Q:¥WIN98N」を指定してください。



図 3.1.2.8 Windows98 CD-ROM の要求

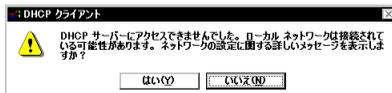


図 3.1.2.12 DHCP メッセージ

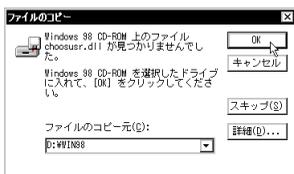


図 3.1.2.9 Windows98 関連ファイルの所在の指定



ご使用のコンピュータがプリインストール版である場合、「ファイルのコピー元」として「C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS」を入力してください（AT 互換機/PC98-NX）PC-9821 では、「A:\WINDOWS\OPTIONS\CABS」を入力してください。

(10) 「完了」ボタンをクリックしてください。

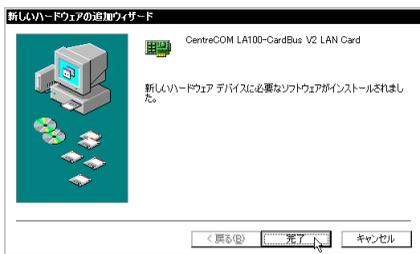


図 3.1.2.10 完了

(11) フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを抜き、「はい」ボタンをクリックし、コンピュータを再起動してください。

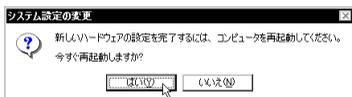


図 3.1.2.11 再起動

(12) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「3.1.3 インストールの確認とアダプターの設定」(p.10)にお進みください。



インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。LAN 環境で TCP/IP をご使用になる場合は、DHCP の設定に関してシステム管理者にご相談ください。

### 3.1.3 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

1. デバイスマネージャによるインストールの確認

(1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。



図 3.1.3.1 コントロールパネル

(2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば、「PCMCIA ソケット」の下にご使用のコンピュータにインストールされている CardBus 対応 PCMCIA コントローラの名前が、「ネットワークアダプタ」の下に「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」が表示されます。



図 3.1.3.2 システムのプロパティ



PCMCIA コントローラの名前は、ご使用のコンピュータ機種によって異なります。前記のダイアログは一例です。また、CardBus コントローラは

同じ名称のものがご使用のコンピュータの PC カードスロットの数だけ表示されます。

本製品のアイコンに「x」「?」「!」などのマークが付いたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「3.3 ドライバのトラブル」(p.16)をご覧ください。

- (3) 「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」を選択（反転表示）し、「プロパティ」「全般」と進みます。「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



図 3.1.3.3.3 本製品のプロパティ（「全般」タブ）

- (4) 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ) などは、Windows98 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。



図 3.1.3.3.4 本製品のプロパティ（「リソース」タブ）

## 2. PC カード (PCMCIA) による確認

「コントロールパネル」の「PC カード (PCMCIA)」をダブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」が表示されていることを確認します。



図 3.1.3.5 PC カードのプロパティ（「ソケットの状態」）

## 3. ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。設定に関する詳細は、システム管理者にご確認ください。



図 3.1.3.6 「ネットワーク」ダイアログ

### 3.1.4 ドライバの更新

ドライバの更新は、本製品用の最新のドライバを入手したときに実行します。

- (1) Windows98 の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れてください。
- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、その下に表示される「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください(図 3.1.3.3)。
- (3) 次のダイアログで「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.4.1 本製品のプロパティ(「ドライバ」タブ)

- (4) 「次へ>」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.4.2

- (5) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

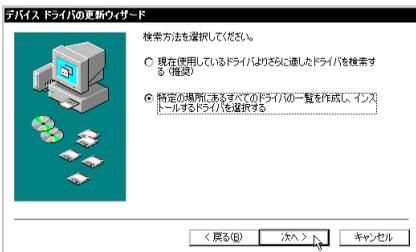


図 3.1.4.3

- (6) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」ボタンをクリックします。



図 3.1.4.4

- (7) 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、次のダイアログで「A:¥windows.98」(PC-9821 では「B:¥windows.98」)と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

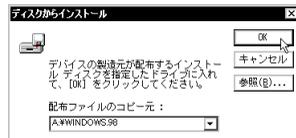


図 3.1.4.5 ドライバの所在の指定

- (8) Windows98 によってドライバーディスクが検索され、次のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。ダイアログが閉じ、図 3.1.4.4 の画面に戻りますが、図 3.1.4.4 が自動的に閉じるまでそのまましばらくお待ちください(1 - 2分)。



図 3.1.4.6 選択するドライバー

- (9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「A:¥WINDOWS.98¥NETATK.INF」(PC-9821 では「B:¥WINDOWS.98¥NETATK.INF」)となっていることを確認し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

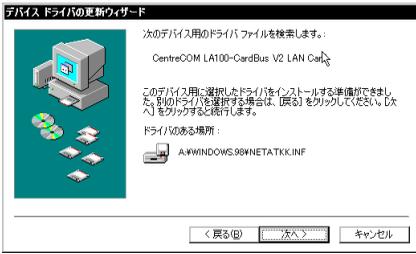


図 3.1.4.7

- (10) 次のようなダイアログが表示される場合、本製品のドライバーディスクがフロッピーディスクドライブに挿入されていることを確認し、「ファイルのコピー元」に「A:¥windows.98」を入力してください（AT 互換機）。



図 3.1.4.8 ドライバーディスクの要求

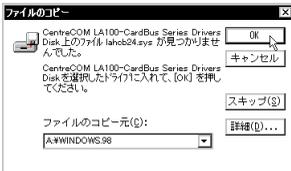


図 3.1.4.9 本製品のドライバーの所在

また、次のようなダイアログが表示される場合、Windows 98 の CD-ROM が CD-ROM ドライブに挿入されていることを確認し、「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN98」を入力してください。ここでは CD-ROM ドライブを「D:」、AT 互換機を仮定します。PC-9821 の場合は、「Q:¥WIN98N」を指定してください。



図 3.1.4.10 Windows 98 の CD-ROM の要求

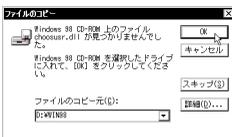


図 3.1.4.11 Windows 98 のファイルの所在の指定



ご使用のコンピュータがプリインストール版である場合、「ファイルのコピー元」として「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してください（AT 互換機 /PC98-NX）PC-9821 では、「A:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してください。

- (11) 「完了」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.4.12 完了

- (12) フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリックしてください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動します。

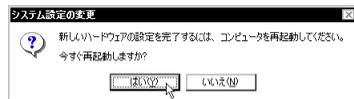


図 3.1.4.13 再起動

- (13) 「3.1.3 インストールの確認とアダプターの設定」(p.10) を実行してください。

### 3.1.5 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にない、間違ってインストールされたドライバーを削除してから、あらためてインストール作業を行います。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックすると表示される「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」を選択して、「削除」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.5.1 削除ボタンをクリック

- (2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



図 3.1.5.2 デバイス削除の確認

- (3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

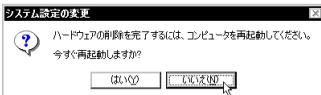


図 3.1.5.3 再起動では「いいえ」を選択

- (4) 「ネットワークアダプタ」の下から本製品のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.5.4 削除後のデバイスマネージャ

- (5) Windows98 を終了し、「スタート」 「Windows の終了」 「電源を切れる状態にする」 「OK」ボタン \ コンピュータの電源をオフにします。

- (6) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押し、本製品を取り外してください。次回の Windows98 起動時から、本製品のドライバがインストールされていない状態となります。

### 3.1.6 ドライバの再インストール

ドライバを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「3.1.5 ドライバの削除」(p.13) の手順にしたがい、本製品のドライバを削除します。
- (2) 「3.1.2 新規インストール」(p.8) の手順にしたがい、本製品のドライバをインストールします。

## 3.2 PC カードの取り付け・取り外し

### 3.2.1 PC カードの取り付け

Windows98は活線挿抜をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットに挿入することができます。

- (1) 「LA100-CardBus-T V2」の文字が印刷された面を上にして、本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入し、カチッと手応えがあるまで押し込んでください。



コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違って装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PC カード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (2) 本製品を PC カードスロットに挿入すると、Windows98 は Plug & Play 機能により本製品を検出します。
- (3) 「PC カード (PCMCIA) のプロパティ」を表示させると (「コントロールパネル」 「PC カード (PCMCIA)」 「Centre COM LA100-CardBus V2 LAN Card」の名前が表示されます (「図 3.1.3.5 PC カードのプロパティ (「ソケットの状態)」」(p.11)を参照))

### 3.2.2 PC カードの取り外し

Windows98は活線挿抜をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。



以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows98ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- (1) ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Internet Explorer、Netscape Navigator、Telnet やデータベースアプリケーションなどをすべて終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、すべて切断してください。
- (2) タスクバーの PC カードアイコン (通常デスクトップ右下) をクリックします。



図 3.2.2.1 PC カードアイコン

- (3) 「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card の中止」バーが表示されたらバーをクリックしてください。



図 3.2.2.2

- (4) 次のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 3.2.2.3

- (5) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。



メディアケーブルを引っ張って PC カードを引き抜くことは絶対におやめください。本製品、メディアケーブルの故障の原因となります。

### 3.2.3 使用するスロットの変更

複数の PC カードスロットを持つコンピュータ機種では、ドライバーをインストールした PC カードスロット以外に本製品を挿入すると、CardBus (32bit PC カード) の仕様により再度ドライバーのインストールが行われます。この場合、新しくインストールされたアダプターに対応するプロトコルの設定が再度必要となりますのでご注意ください。

また、インストールを完了すると、「ネットワークの設定」画面 (「コントロールパネル」 「ネットワーク」、図 3.1.3.6) に「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」アイコンが複数表示されるようになります。

これは異常ではありませんが、どちらのアイコンがどの PC カードスロットに対応したものであるかが表示されません。混乱を避けるため、本製品はできるだけ同じ PC カードスロットでご使用ください。

## 3.3 ドライバーのトラブル

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。



以下の手順は、本製品を PC カードスロットに取り付けた状態で行ってください。

注意

### 3.3.1 本製品を認識しない

「正常にインストールできない」場合や、「PC カードが検出されない」場合、また「3.1.3 インストールの確認とアダプターの設定」(p.10)の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって確認を行うと、「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」アイコンが以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

- ・「ネットワークアダプタ」の項目がない
- ・「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった
- ・デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く



「ネットワークアダプタ」の項目がないとか、本製品のアイコンが「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまう障害は、ドライバーインストール中に行われる Windows98 関連ファイル (netapi.dll など) のインストールをキャンセルしてしまったなどの原因が考えられます。

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」アイコンを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「3.1.5 ドライバーの削除」(p.13) の手順 (2) で降を実行してください。
- (3) コンピュータの再起動が完了したら、「3.1.2 新規インストール」(p.8) を実行してください。

### 3.3.2 デバイスマネージャで「×」が付く

デバイスマネージャの「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」アイコンに「×」マークが付いている場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」を選択 (反転表示) し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブを表示します (図 3.1.3.2、図 3.1.3.3)。

- (2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

### 3.3.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIA コントローラと協調して動作します。そのため、PCMCIA コントローラが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。



警告

ご使用のコンピュータの PCMCIA コントローラ専用ドライバーが、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されている手順で PCMCIA コントローラの再インストールを行ってください。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、どのようなドライバーがインストールされているかを記録した後 (下記参照) 以下の手順を実行してください。



このようなときは、Windows98 のシステムレポート出力機能を利用すると便利です。レポートを出力するには、「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」とたどり、「印刷」ボタンをクリックします。「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択し、以後画面の指示にしたがってください。



注意

CardBus 対応のコンピュータ機種には、使用する PC カードに応じて 2 種類 (16bit/32bit) の PCMCIA コントローラを切り替えなければならないものがありますのでご注意ください。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルでご確認ください。

「3.1.3 インストールの確認とアダプターの設定」(p.10)の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがってインストールの確認を行った際に、「PCMCIA ソケット」の下に表示される PCMCIA コントローラのアイコンに「?」、「!」のマークが付いている場合は、次の手順を実行してみてください。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。
- (2) 「PCMCIA ソケット」の下にある PCMCIA コントローラを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。
- (3) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。
- (4) 「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。
- (5) Windows98 を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、本製品を PC カードスロットから取り外します。
- (6) 再びコンピュータの電源をオンにします。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PC カード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。



Plug & Play 機能により、ドライバーを自動的に読み込んでしまうコンピュータ機種もあります。

- (7) 「ハードウェアの追加」アイコン（コントロールパネル）をダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、「次へ>」ボタンをクリックしてください（「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります）。
- (8) 「はい」（通常はこちらを選んでください）を選択し、続く2つの質問に対して「次へ>」ボタンをクリックして進みます。最後に「完了」ボタンをクリックしてハードウェアウィザードを終了してください。
- (9) 続いて、自動的に「PC カード（PCMCIA）ウィザード」が起動します。表示されるメッセージにしたがって操作してください。

### 3.3.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「？」、「！」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows98 に予め登録（「予約」と呼びます）し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス（本製品を含む）によって使用されないように設定することで、値の重複を回避できます。

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値（インタラプト（IRQ）I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス（DMA））を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「コンピュータ」「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

## 4 Windows 95



以下に挙げる内容は一例です。お客様の環境によっては、手順などが若干異なることがあります。（本書に掲載した画面は AT 互換機のもので、PC-98 シリーズの場合はディスプレイ名が異なります。）

### 4.1 ドライバーのインストール

#### 4.1.1 用意するもの

- LA100-CardBus-T V2 カード本体
- コンピュータ（CardBus 対応 PC カードスロット付き、Windows95 Version B または C インストール済み）
- LA100-CardBus-T V2 ドライバーディスク（本製品に付属）
- Windows95 の CD-ROM または フロッピーディスク



Windows95 が、コンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合は、Windows95 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスクに Windows95 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

#### 4.1.2 新規インストール

- (1) コンピュータの電源をオンにし、Windows95 を起動してください。
- (2) コンピュータの PC カードスロットに本製品を挿入してください。



本製品は、CardBus に対応していないコンピュータの PC カードスロットに絶対に挿入しないでください。無理に挿入しようとすると、PC カードまたは PC カードスロットを破損させるおそれがあります（CardBus 対応 PC カードは、CardBus に対応していないコンピュータの PC カードスロットに誤って挿入してしまうことを防ぐために、カードの形状を工夫してあります）。

- (3) Windows95 は、本製品を自動的に検出し、「デバイスドライバウィザード」が起動します。本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「次へ>」をクリックしてください。

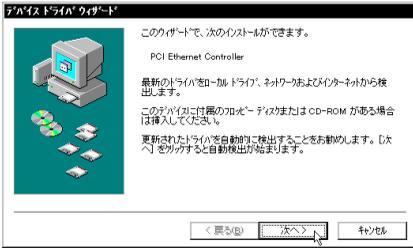


図 4.1.2.1 デバイスドライバウィザードの起動



デバイス名として「PCI Ethernet Controller」が表示されます。

- (4) 「デバイスドライバウィザード」は下の画面を表示します。画面の内容を読んだ上で、「完了」ボタンをクリックしてください。

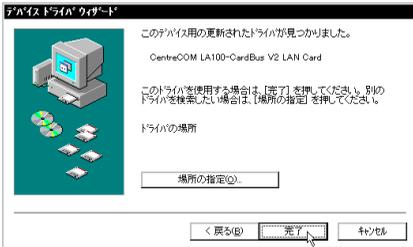


図 4.1.2.2



自動検索を使わず、「場所の指定(O)...」ボタンを使ってディレクトリを直接指定することもできます。この場合はディレクトリとして「A:¥windows.95」を入力してください。

- (5) ドライバディスクの挿入を促すダイアログが表示される場合は、フロッピーディスクドライブに本製品のドライバディスクが入っていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 4.1.2.3 ドライバディスクの要求

- (6) パスとして「A:¥windows.95」を入力し、「OK」ボタンをクリックします。ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。



図 4.1.2.4 ファイルのコピー元の指定 (本製品)

また、Windows95のCD-ROMまたはフロッピーディスクの挿入を促すダイアログが表示される場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 4.1.2.5 Windows95ディスクの挿入

- (7) 次のダイアログが表示されます。「C:¥windows¥options¥cabs」を入力してください(AT互換機/PC98-NX) PC-9821では「A:¥windows¥options¥cabs」となります。

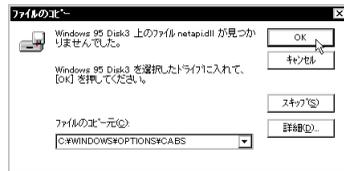


図 4.1.2.6 パスの指定 (プリインストール版)



インストール元のメディアとして CD-ROM、フロッピーディスクを使用する場合は、以下のようにパスを指定してください。

#### フロッピーディスクの場合

指示された番号のディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「ファイルのコピー元:」で「A:¥」を入力してください。通常、drv:はAT互換機/PC98-NXではA:、PC-9821ではB:となります。

#### CD-ROMの場合

CD-ROMをドライブに挿入し、「D:¥WIN95」を入力してください。(ここでは、CD-ROMドライブをD:と仮定します。)

- (8) コピーが終了すると、次のダイアログが表示されますので、コンピュータ名、ワークグループ名、コンピュータの説明(省略可)の入力を行います。これらの情報については、お客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。



図 4.1.2.7 「ユーザー情報」の入力



コンピュータ名およびワークグループ名の入力には、15文字以下の半角文字を使用します。詳細は、Windows95のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。また、このダイアログをインストール後に変更する場合は、「コントロールパネル」「ネットワーク」を起動し、「ユーザー情報」タブを選択してください（既にこのダイアログの内容が設定されている場合、このダイアログはドライバーのインストール中に表示されません）。

- (9) ダイアログ「システム設定の変更」が表示されます。フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを抜き、「今すぐ再起動しますか?」という問いに対して、「はい(Y)」ボタンをクリックし、再起動してください。以上でインストールは終了です。

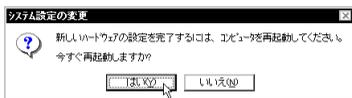


図 4.1.2.8 システム設定の変更



注意

インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「はい(Y)」ボタンをクリックしてください。LAN環境でTCP/IPをご使用になる場合は、DHCPの設定に関してシステム管理者にご相談ください。



図 4.1.2.9 DHCPのメッセージ

#### 4.1.3 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を施します。

##### 1. デバイスマネージャによるインストールの確認

- (1) コンピュータの再起動が完了したら、「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。
- (2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば、「PCMCIA ソケット」の下にご使用のコンピュータにインストールされている CardBus 対応 PCMCIA コントローラの名前が、「ネットワークアダプタ」の下に「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」が表示されます。



図 4.1.3.1 デバイスマネージャ



注意

PCMCIA コントローラの名前は、ご使用のコンピュータ機種によって異なります。前記のダイアログは一例です。また、CardBus コントローラは同じ名称のものがご使用のコンピュータの PC カードスロットの数だけ表示されます。

本製品のアイコンに「?!」のマークがついていたり、「PCI Ethernet Controller」という名のアイコンが「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「4.3 ドライバのトラブル」(p.23)をご覧ください。

- (3) 「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」を選択（反転表示）し、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「情報」タブを選択し、「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認してください。



図 4.1.3.2 デバイスの状態



注意

「ドライバ」タブを選択すると、「このデバイスにはドライバファイルが必要でないか、または組み込まれていません。」というメッセージが表示されることがありますが、ご使用に支障はありません。安心してご使用ください。

- (4) 本製品が使用する I/O アドレス、インタラプト (IRQ) などは Windows95 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。



図 4.1.3.3 リソース

「競合するデバイス」の欄には CardBus によって、本製品に割り当てられたリソースが表示されています。CardBus コントローラとリソースが競合しているような記述になっていますが、問題ありません。(競合は起きていません。)

## 2. PC カード (PCMCIA) による確認

「コントロールパネル」の「PC カード (PCMCIA)」をダブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」が表示されていることを確認します。



図 4.1.3.4 ソケットの状態

## 3. ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。インターネットへのアクセスを行うためには (WWW ブラウザなどをご使用にするためには) TCP/IP プロトコルが必須です。設定に関する詳細は、お客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。



図 4.1.3.5 プロトコルなどの設定

必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。

### 4.1.4 ドライバの削除

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」を選択し、「削除 (E)」ボタンをクリックしてください。



図 4.1.4.1 システムのプロパティ（削除）

- (2) 下のダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



図 4.1.4.2 デバイス削除の確認



注意

Windows95 Version C の場合、削除に関する選択肢が表示されますので、「すべての設定から削除」ラジオボタンを選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。

- (3) 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えたことを確認し、「システムのプロパティ」の「閉じる」ボタンをクリックしてください。



図 4.1.4.3 デバイスマネージャ

- (4) タスクバーの PC カードアイコンをダブルクリックします（「図 4.2.2.1 PC カードアイコン」(p.22)）。

- (5) 「PC カード（PCMCIA）のプロパティ」が表示されます。本製品が挿入されていたソケットの表記が「-」（画面では「ソケット 2」となっています。該当するソケットを選択して、「終了」ボタンをクリックしてください。



図 4.1.4.4 デバイス削除後の「ソケットの状態」

- (6) 「OK」ボタンをクリックしてください。



図 4.1.4.5

- (7) PC カードスロットから本製品を抜きます。

- (8) 「PC カード（PCMCIA）のプロパティ」の「ソケットの状態」で該当スロットが「空」と表示されます。

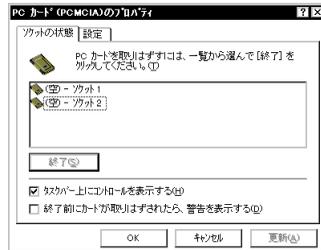


図 4.1.4.6

- (9) タスクバー上で PC カードアイコンが消えていることもご確認ください。以上で削除の手続きは終了です。

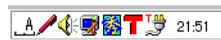


図 4.1.4.7 タスクバー

## 4.1.5 再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「4.1.4 ドライバーの削除」(p.20) の手順にしたがい、本製品のドライバーを削除します。
- (2) 「4.1.2 新規インストール」(p.17) の手順にしたがい、本製品のドライバーをインストールします。

## 4.2 PC カードの取り付け・取り外し

### 4.2.1 PC カードの取り付け

Windows95は活線挿抜をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットに挿入することができます。

- (1) 「LA100-CardBus-T V2」の文字が印刷された面を上にして、本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入し、カチッと手応えがあるまで押し込んでください。



コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違って装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PC カード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (2) 本製品を PC カードスロットに挿入すると、Windows95 は Plug & Play 機能により本製品を検出します。
- (3) 「PC カード (PCMCIA) のプロパティ」を表示させると(「コントロールパネル」 「PC カード (PCMCIA)」)、「Centre COM LA100-CardBus V2 LAN Card」の名前が表示されます(「図 4.1.3.4 ソケットの状態」(p.20)を参照)

### 4.2.2 PC カードの取り外し

Windows95は活線挿抜をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。



以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows95ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- (1) ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Internet Explorer、Netscape Navigator、Telnet やデータベースアプリケーションなどをすべて終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、すべて切断してください。

- (2) タスクバーの PC カードアイコン (通常デスクトップ右下) をクリックします。



図 4.2.2.1 PC カードアイコン

- (3) 「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card の中止」バーが表示されたらバーをクリックしてください。



図 4.2.2.2

- (4) 次のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 4.2.2.3

- (5) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。



メディアケーブルを引っ張って PC カードを引き抜くことは絶対におやめください。本製品、メディアケーブルの故障の原因となります。

### 4.2.3 使用するスロットの変更

複数の PC カードスロットを持つコンピュータ機種では、ドライバーをインストールした PC カードスロット以外に本製品を挿入すると、CardBus (32bit PC カード) の仕様により再度ドライバーのインストールが行われます。この場合、新しくインストールされたアダプターに対応するプロトコルの設定が再度必要となりますのでご注意ください。

また、インストールを完了すると、「ネットワークの設定」画面(「コントロールパネル」 「ネットワーク」、図 3.1.4.5)に「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」アイコンが複数表示されるようになります。

これは異常ではありませんが、どちらのアイコンがどの PC カードスロットに対応したものであるかが表示されません。混乱を避けるため、本製品はできるだけ同じ PC カードスロットでご使用ください。

## 4.3 ドライバーのトラブル

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。



以下の手順は、本製品を PC カードスロットに取り付けた状態で行ってください。

注意

### 4.3.1 本製品を認識しない

「正常にインストールできない」場合や、「PC カードが検出されない」場合、また「4.1.3 インストールの確認とアダプターの設定」(p.19)の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって確認を行うと、「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」アイコンが以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

- ・「ネットワークアダプタ」の項目がない
- ・「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に「PCI Ethernet Controller」という名のアイコンがある
- ・デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く



「ネットワークアダプタ」の項目がないとか、「PCI Ethernet Controller」アイコンが「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまう障害は、ドライバーインストール中に行われる Windows95 関連ファイル (netapi.dll など) のインストールをスキップしてしまったなどの原因が考えられます。

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」アイコンを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「4.1.4 ドライバーの削除」(p.20)の手順(2)以降を実行してください。
- (3) コンピュータの再起動が完了したら「4.1.2 新規インストール」(p.17)を実行してください。

### 4.3.2 デバイスマネージャで「×」が付く

デバイスマネージャの「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」アイコンに「×」マークが付いている場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」を選択(反転表示)し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「情報」タブを表示します(図 4.1.3.1 デバイスマネージャ (p.19))。

- (2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェック「✓」を外してください(図 4.1.3.2 デバイスの状態)(p.20)。

### 4.3.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIA コントローラと協調して動作します。そのため、PCMCIA コントローラが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。



警告

ご使用のコンピュータの PCMCIA コントローラ専用ドライバーが、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されている手順で PCMCIA コントローラの再インストールを行ってください。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、どのようなドライバーがインストールされているかを記録した後(下記参照)以下の手順を実行してください。



注意

CardBus 対応のコンピュータ機種には、使用する PC カードに応じて2種類(16bit/32bit)の PCMCIA コントローラを切り替えなければならぬものがありますのでご注意ください。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルでご確認ください。

「4.1.3 インストールの確認とアダプターの設定」(p.19)の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがってインストールの確認を行った際に、「PCMCIA ソケット」の下に表示される PCMCIA コントローラのアイコンに「?」、「!」のマークが付いている場合は、次の手順を実行してみてください。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。
  - (2) 「PCMCIA ソケット」の下にある PCMCIA コントローラを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。
  - (3) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。
  - (4) 「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。
  - (5) Windows95を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、本製品を PC カードスロットから取り外します。
  - (6) 再びコンピュータの電源をオンにします。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PC カード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。
-  Plug & Play 機能により、ドライバーを自動的に読み込んでしまうコンピュータ機種もあります。
- (7) 「ハードウェアの追加」アイコン(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィ

ザード」が起動したら、「次へ >」ボタンをクリックしてください（「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります）。

- (8) 「はい（通常はこちらを選んでください）」ボタンを選択し、続く2つの質問に対して「次へ>」ボタンをクリックして進みます。最後に「完了」ボタンをクリックしてハードウェアウィザードを終了してください。
- (9) 続いて、自動的に「PCカード（PCMCIA）ウィザード」が起動します。表示されるメッセージにしたがって操作してください。

#### 4.3.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「？」、「！」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。特に、拡張ドック（ボックス）などを使用している場合は注意が必要です。

Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値をWindows95に予め登録（「予約」と呼びます）し、その値が他のPlug & Play 対応デバイス（本製品を含む）によって使用されないように設定することで、値の重複を回避できます。

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値（インタラプト（IRQ）/I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス（DMA））を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「コンピュータ」「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

## 5 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

### 5.1 LNK LED は点灯していますか?

LNK（LINK）LED は、ハブ（またはスイッチ）と正しく接続されている場合に点灯するランプです。LNK LED は、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方のLNK LED が点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ハブの電源がオンになっているか確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。
- ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブ機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート（カスケードポート）を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続するときは、カスケードポートの設定スイッチで同ポートを「MDI-X」や「to pc」に設定しなければなりません（通常のハブのポートとして設定する）。
- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTPケーブルに問題はありますか？ケーブルの不良は外観から判断しにくい（結線は良いが特性が悪い場合など）他のケーブルに交換して試験してみてください。
- ハブの通信速度、カードの通信速度を確認してください。次の「5.3 本製品の詳細設定」(p.25)を参考にして、対向機器に合った速度を選択してください。

### 5.2 LNK LED は点灯しているが...

LNK LED は点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTPケーブルの長さは正しいですか？ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最長100mと規定されています。
- 正しいUTPケーブルを使用していますか？100BASE-TXでは「カテゴリー5」、10BASE-Tで「カテゴリー3」以上のUTPケーブルを使用しなければなりません。
- UTPケーブルに問題はありますか？ケーブルの不良は外観から判断しにくい（結線は良いが特性が悪い場合など）他のケーブルに交換して試験してみてください。

### 5.3 本製品の詳細設定

本製品は、基本的に出荷時の設定で動作しますが、使用環境によっては追加の設定が必要になることもあります。その場合は、以下の手順にしたがって詳細設定を行ってください。

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、「現在のネットワークコンポーネント」から「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」を選択して「プロパティ」ボタンをクリックします。「CentreCOM LA100-CardBus V2 LAN Card」のプロパティが表示されるので、「詳細設定」タブをクリックしてください。

「詳細設定」タブには多くの設定項目が用意されていますが、通常は次の4項目のみ設定してください。他の項目については出荷時設定のままご使用ください。

- Store And Forward:

本カードが送信を開始するタイミングを指定します。通常は、Enabled（初期設定）でご使用ください。



図 5.3.0.1 Store And Forward

Disabled を選択した場合は 100Mbps Transmit Threshold、10Mbps Transmit Threshold の設定が有効になります。

Enabled を選択した場合は、送信データがすべて送信 FIFO バッファにたまった時点でパケットの送信が開始されます。

- Transmit Threshold 100Mbps/Transmit Threshold 10Mbps:

Store And Forward が Disabled のときに意味をもつパラメータで、送信開始のしきい値を指定します。通常は、初期値（10M:96bytes、100M:128bytes）のみでご使用ください。

例えば、128bytes を選択した場合、送信 FIFO バッファに 128 バイトがたまった時点でパケットの送信が開始されます。手動で数値を特定する場合は、72、96、128、160bytes（10Mbps）、128、256、512、1024bytes（100Mbps）の4つの選択肢の中から適切なものを選択してください。



図 5.3.0.2 Transmit Threshold 100Mbps



図 5.3.0.3 Transmit Threshold 10Mbps

- Connection Type:

本製品の通信速度（10/100Mbps）と通信モード（Full duplex/Half duplex）を選択します。

初期設定は AutoSense です。



図 5.3.0.4 Connection Type

#### AutoSense

Auto-negotiation 機能を有効にします。この項目を選択した場合、対向機器も Auto-negotiation をサポートしていれば、実現可能な最高の速度とモードが使用されます。ただし、対向機器が Auto-negotiation をサポートしていない場合は、通

信速度のみ自動的に検出され、検出された速度のHalf duplex (半 2 重) モードが使用されます。Auto-negotiation をサポートしていない対向機器との間で全 2 重通信を行うには、「100BaseTx Full\_Duplex ( 100Mbps の場合 )」か「10BaseT Full\_Duplex ( 10Mbps の場合 )」を選択しなければなりません。

100BaseTx  
100BASE-TX の Half duplex モードに設定します。

100BaseTx Full\_Duplex  
100BASE-TX の Full duplex モードに設定します。

10BaseT  
10BASE-T の Half duplex モードに設定します。

10BaseT Full\_Duplex  
10BASE-T の Full duplex モードに設定します。

10BaseT No\_Link\_Test  
リンクテストをサポートしていないハブ (10BASE-T) と接続するときに選択します。

## 6 PC-9821Nr における注意

本製品を NEC PC-9821Nr シリーズ (PC-9821 Nr15/Nr150/Nr166 など) でご使用になる場合は、以下の手順に従い、コンピュータの「省電力モード」を使用しない設定を行ってください。この設定をしないまま本製品をご使用になると、コンピュータ内部の CardBus コントローラへの電源供給の状態が不安定になり、コンピュータが動作しなくなるなどの障害を招く恐れがあります。(「省電力モード」「ハイバネーション機能」などについての詳細はコンピュータのマニュアルをご覧ください。)

### 1. 「98NOTEメニュー」ユーティリティ

(1) 「98NOTEメニュー」ユーティリティを起動します。  
(起動の手順についてはコンピュータのマニュアルをご覧ください。)

(2) 「メインメニュー」の「省略時の設定」にカーソルを合わせ、「省電力モード」で「フルパワー」を選択します。  
(多くの機種では工場出荷時は「フルパワー」に設定されていますが、必ずご確認ください。)

### 2. 「パワーマネージメント」(Windows95 コントロールパネル)

(1) 「スタート」「設定 (S)」「コントロールパネル」と進み、「パワーマネージメント」を起動します。

(2) 「パワーマネージメント」タブの「Windows でコンピュータの電源管理をする」のチェック「✓」をオフにします(チェックしない)。(工場出荷時はオンに設定されています。)



図 6.0.0.1

- (3) 「ディスクドライブ」タブの「電源が AC 電源の場合」のチェック「✓」をオフにします(チェックしない)。  
(工場出荷時はオンに設定されています。)



図 6.0.0.2

- (4) コンピュータを再起動します。

### 3. 再起動後

上記の設定を行うと、コンピュータを起動する度に次のダイアログが表示されるようになりますので、「OK」ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。このダイアログを表示させたくない場合は「スタートアップ」フォルダから「ハイバネーション機能」アイコンを外すと、ダイアログの表示を回避できます。

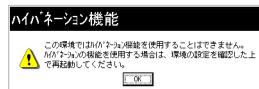


図 6.0.0.3

## A 付録

### A.1 製品仕様

#### 1. ハードウェア仕様

- カード規格：PC Card Standard・CardBus PC Card (32-bit PC Card)
- 信号：IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-Tx、IEEE802.3u Auto-negotiation

#### 2. 機械的仕様

- 外形：  
カード：54.0 x 85.6 x 5.0 mm (Type II PC Card)  
メディアケーブル：300 x 16 x 21 mm
- 重量：  
カード：約 35g  
メディアケーブル：約 10g

#### 3. 電気的仕様

- 動作電圧：DC +3.3V ± 0.3V
- 消費電流：最大 310 mA (100Mbps リンク時)
- 消費電力：最大 1.0W (100Mbps リンク時)

#### 4. 環境条件

- 動作保証温度：0 ~ 55 (PC カードの周囲温度)\*1
- 保存温度：-20 ~ +65
- 動作・保存湿度：95% 以下 (ただし結露なきこと)

#### 5. 電気雑音の発生防止

- 雑音端子電圧：VCCI クラス B
- 雑音電界強度：VCCI クラス B

#### 6. ネットワーク機能

- 転送速度：10Mbps または 100Mbps
- 通信モード：半二重または全二重

#### 7. 使用するハードウェア資源\*2

- 割り込み (IRQ)：1 チャンネルを使用する。
- I/O アドレス：連続する 128 バイトを使用する。
- メモリアドレス：連続する 1024 バイトを使用する。

\*1 本製品 (PC カード) の周囲温度であり、コンピュータの周囲温度ではおけません。

\*2 これらはコンピュータによって自動的に設定されます。

### A.2 ネットワークインターフェース

10BASE-T/100BASE-Tx インターフェース (MDI) は、RJ-45 型と呼ばれるモジュラージャックが使用されています。

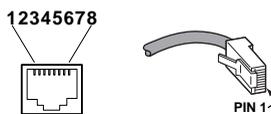


図 A.2.1 RJ-45 モジュラージャック、プラグ

ピン番号	信号 (MDIポート)
1	送信データ (+)
2	送信データ (-)
3	受信データ (+)
4	未使用
5	未使用
6	受信データ (-)
7	未使用
8	未使用

図 A.2.2 信号線名

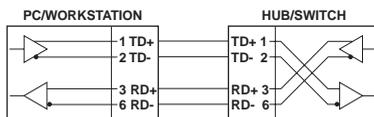


図 A.2.3 UTP ケーブル (ストレートタイプ)

### A.3 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MAC アドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MAC アドレスは機器 (アダプター) のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の (unique、ユニークな) アドレスです。

MAC アドレスは、下記の 6 バイト (48 ビット) によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品の MAC アドレスは、製品に貼付されている MAC アドレスラベルに記入されています (表記は全て 16 進数)。

00 00 F4 94 xx xx  
ベンダー ID 通し番号

- ベンダー ID  
LAN ベンダー (LAN 用機器を製造しているメーカー) が IEEE に申請することにより得られる識別番号です。

- 通し番号  
この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、本製品は、94 から始まる 6 桁の数値となっています。この通し番号と本製品の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はありません。



MACアドレス（マックアドレスと読みます）は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあつます。また、MACアドレスは、TCP/IPの環境で使用されるIPアドレスに関係があつますが、これらは別べつのものです。

## B 保証

本製品に添付されている「永久保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受けれません。

### 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害をみ、またこれらに限定されな）については、当社は、その責を一切負わないこととします。

## C ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依頼書」をプリントアウトしたものに必要事項を記入し、下記にファクスしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。ファクスによって詳細な情報を送付していただく方が、電話による問い合わせよりも速かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細については、「C.1 調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。なお、都合によりご連絡の遅れることもございますので、予めご了承ください。

アライドテレシス株式会社  
サポートセンター

Fax: ☎ 0120-860-662 年中無休 24 時間受付

Tel: ☎ 0120-860-772 月～金（祝・祭日を除く）  
10:00-12:00、13:00-17:00

### C.1 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそつて、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

#### ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン  
本製品に貼られたシリアル番号ラベルのシリアル番号（S/N）、製品リビジョンコード（Rev.）を調査依頼書に記入して

ください。

（例）  


2. ご使用の当社のソフトウェア  
当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフトウェアの種類、バージョン（Ver.）、シリアル番号（S/N）を記入してください。それらは、フロッピーディスクのラベル上に記入されています。
3. ご使用のコンピュータの機種  
ご使用になっているコンピュータのメーカー名、機種名をご記入ください。
4. ご使用の周辺機器  
CD-ROM ドライブ、サウンドボード、SCSI ボードなどの他社製拡張アダプターや、メモリマネージャなどのユーティリティをご使用の場合はそれら全てについてご記入ください。
5. ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など  
接続しているサーバーの機種とその環境を可能な限りご記入ください。（例えば、NetWare 5、Windows NT Version 4.0 Server、FreeBSD 2.2.8 など）

#### お問い合わせ内容

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）記入してください。
- 本カードと併用されているユーティリティや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。
- ご使用の OS が Windows95、Windows NT の場合、お手数ですが可能な限りシステムレポートをを出力し、添付下さるようお願いいたします。レポートの出力方法は、「C.2 システムレポートの出力方法」をご覧ください。

#### 接続の構成図

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

### C.2 システムレポートの出力方法

システムレポートは、Windows95/98 が自動生成するシステムに開するレポートで、以下の手順で印刷することができます。

- (1) コントロールパネルから「システム」を起動し、「デバイス マネージャ」タブを表示します。
- (2) 「印刷 (N)...」ボタンをクリックします。





---

お問い合わせ内容

---

---

接続の構成図

---

簡単で結構ですからご記入をお願いします。

## D ご注意

- ・本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- ・アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- ・アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・本製品の 内容またはその仕様に関して発生した 結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1998 アライドテレシス株式会社

## E 商標について

CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。

Windows、WindowsNT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

## F マニュアルバージョン

1998年 12月 14日 Rev.A 初版

**アライドテレシス株式会社**

PN J613-M3494-00 Rev.A 981214